

## 政策 14 「新しい時代を担う産業人の育成」

政策 14 「新しい時代を担う産業人の育成」は、地域産業全体の活力を高めるために、新事業への進出や創意工夫、革新に挑戦する人材の育成を目指す様々な施策で構成されている。

## 1. 政策 14 の認知度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 20.2%、低認知度群は 79.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（22.6%）が女性（17.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（28.7%）が 65 歳未満（17.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、項認知度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

（%）

政策 14 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.4	18.8	20.2	59.8	20.0	79.8	100.0

性別	男性	1.8	20.8	22.6	58.6	18.7	77.3	100.0
	女性	0.8	16.9	17.7	60.9	21.3	82.2	100.0
年齢別	65 歳未満	1.1	16.1	17.2	60.5	22.3	82.8	100.0
	65 歳以上	2.0	26.7	28.7	57.6	13.7	71.3	100.0

圏域別	仙台	0.9	18.5	19.4	57.3	23.2	80.5	100.0
	仙南	0.9	19.6	20.5	58.7	20.9	79.6	100.0
	大崎	2.2	21.0	23.2	58.1	18.8	76.9	100.0
	栗原	1.9	21.8	23.7	57.1	19.2	76.3	100.0
	登米	1.4	19.8	21.2	61.3	17.5	78.8	100.0
	石巻	1.1	15.5	16.6	61.5	21.9	83.4	100.0
	気山沼・本吉	0.8	14.8	15.6	64.8	19.5	84.3	100.0

有効回答者数 1,611 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 27.4%、低認知度群は 72.6%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（75.0%）では 47.6 ポイント、気仙沼・本吉圏域（34.2%）では 6.8 ポイント高い。

仙南圏域（17.9%）では、回答者全体と比較して 9.5 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.0%、低認知度群は 50.0%である。

(%)

政策 14 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.7	24.7	27.4	61.3	11.3	72.6	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	22.0	23.7	61.9	14.4	76.3	100.0
	仙南	3.6	14.3	17.9	66.1	16.1	82.2	100.0
	大崎	2.6	24.4	27.0	62.8	10.3	73.1	100.0
	栗原	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	71.4	100.0
	登米	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	13.6	18.2	31.8	54.5	13.6	68.1	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	34.2	34.2	65.8	0.0	65.8	100.0

有効回答者数 336 名

学識者等全体	8.8	41.2	50.0	45.6	4.4	50.0	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

## 2. 政策 14 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 65.9%、低関心度群は 34.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（69.9%）が女性（61.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.5%）が 65 歳未満（63.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（59.4%）では、回答者全体と比較して 6.5 ポイント低い。

（%）

政策 14 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	17.8	48.1	65.9	28.6	5.6	34.2	100.0

性別	男性	20.4	49.5	69.9	26.0	4.1	30.1	100.0
	女性	15.3	46.6	61.9	31.1	6.9	38.0	100.0
年齢別	65 歳未満	15.1	48.6	63.7	31.1	5.3	36.4	100.0
	65 歳以上	25.4	46.1	71.5	21.9	6.6	28.5	100.0

圏域別	仙台	12.0	51.9	63.9	30.6	5.6	36.2	100.0
	仙南	13.4	52.9	66.3	28.6	5.0	33.6	100.0
	大崎	23.4	43.0	66.4	29.4	4.3	33.7	100.0
	栗原	21.2	47.3	68.5	25.4	6.1	31.5	100.0
	登米	15.1	51.4	66.5	29.4	4.1	33.5	100.0
	石巻	15.0	44.4	59.4	33.7	7.0	40.7	100.0
	気山沼・本吉	21.7	45.4	67.1	26.3	6.7	33.0	100.0

有効回答者数 1,646 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 63.3%、低関心度群は 36.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 36.7 ポイント、石巻圏域(78.3%)では 15.0 ポイント、気仙沼・本吉圏域(73.0%)では 9.7 ポイント、栗原圏域(71.4%)では 8.1 ポイント高い。

仙台圏域(53.0%)では、回答者全体と比較して 10.3 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 91.2%、低関心度群は 8.9%である。

(%)

政策 14 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	14.3	49.0	63.3	34.9	1.8	36.7	100.0	
圏 域 別	仙台	12.0	41.0	53.0	45.3	1.7	47.0	100.0
	仙南	17.9	50.0	67.9	30.4	1.8	32.2	100.0
	大崎	10.3	51.3	61.6	37.2	1.3	38.5	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	17.4	60.9	78.3	13.0	8.7	21.7	100.0
	気仙沼・本吉	18.9	54.1	73.0	27.0	0.0	27.0	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	33.8	57.4	91.2	7.4	1.5	8.9	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 68 名

### 3. 政策 14 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.7	(79.3)
満足度 60点未満の割合		64.6
要検討領域にある回答者全体の割合		43.9

有効回答者数；重視度 1,613人、満足度 1,594人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	1613	1594
	欠損値	108	127
平均値		69.85	48.81
平均値の標準誤差		.451	.434
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.095	17.344
分散		327.412	300.807
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.9	(86.1)
満足度 60点未満の割合		58.5
要検討領域にある回答者全体の割合		44.6

有効回答者数；重視度 338人、満足度 335人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	338	335
	欠損値	0	3
平均値		70.52	52.48
平均値の標準誤差		.811	.760
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.902	13.912
分散		222.061	193.544
範囲		85	80
最小値		15	0
最大値		100	80
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

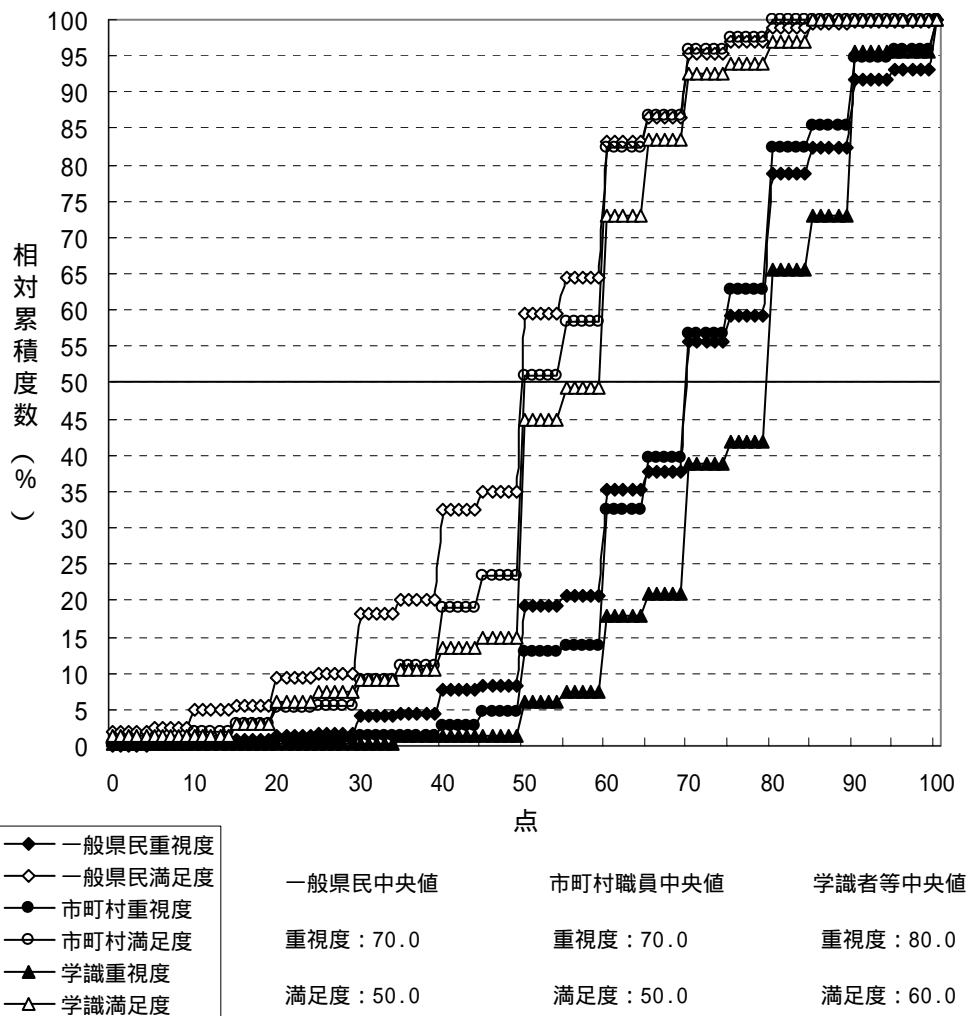
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.5	(92.5)
満足度 60点未満の割合		49.3
要検討領域にある回答者全体の割合		41.8

有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		76.64	55.00
平均値の標準誤差		1.642	1.839
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.439	15.050
分散		180.597	226.515
範囲		65	75
最小値		35	10
最大値		100	85
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 47.0%、女性 40.8%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

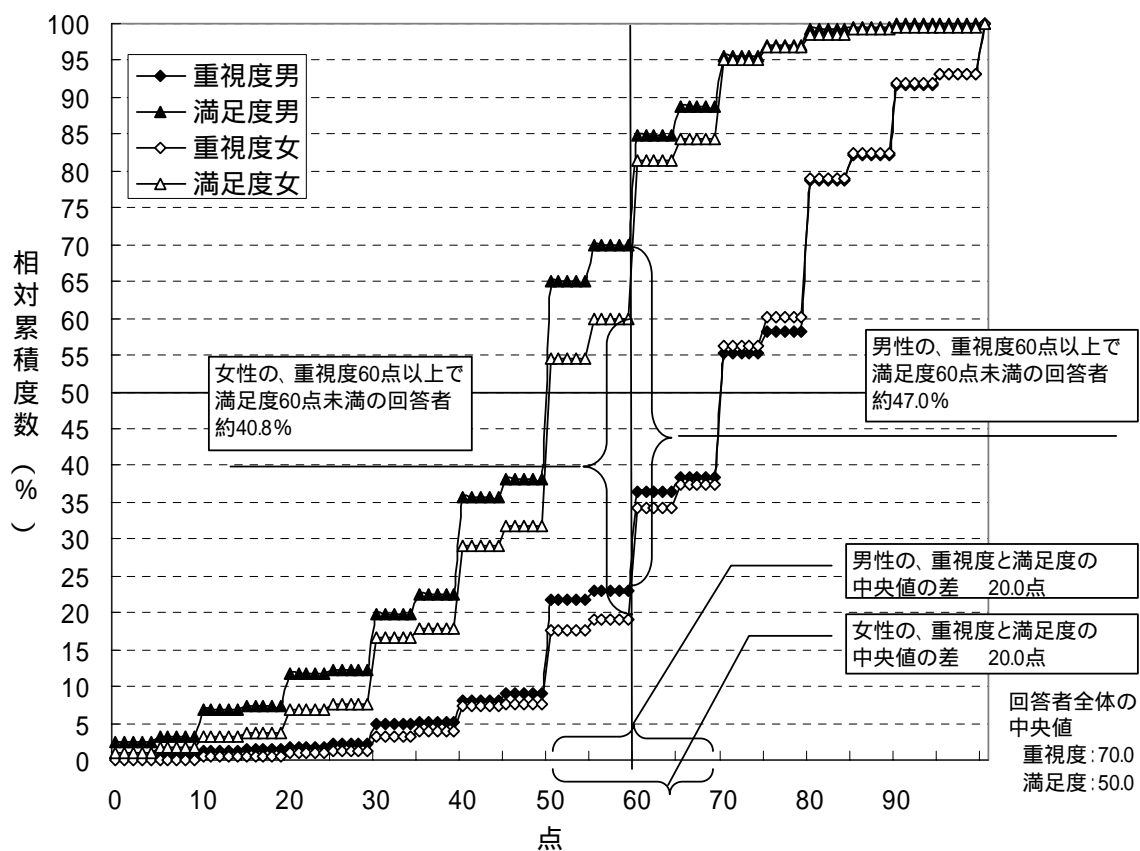
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.9 (77.1)	19.0 (81.)
満足度 60 点未満の割合	69.9	59.8
要検討領域にある回答者全体の割合	47.0	40.8



(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	770	763
	欠損値	33	40
平均値		69.32	46.99
平均値の標準誤差		.681	.645
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.897	17.805
分散		357.086	317.024
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	825	813
	欠損値	71	83
平均値		70.19	50.59
平均値の標準誤差		.605	.583
中央値		70.00	50.00
最頻値		70 <sup>a</sup>	50
標準偏差		17.365	16.636
分散		301.540	276.745
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されず。

## 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 44.1%、65 歳以上 42.8%と推定できる。

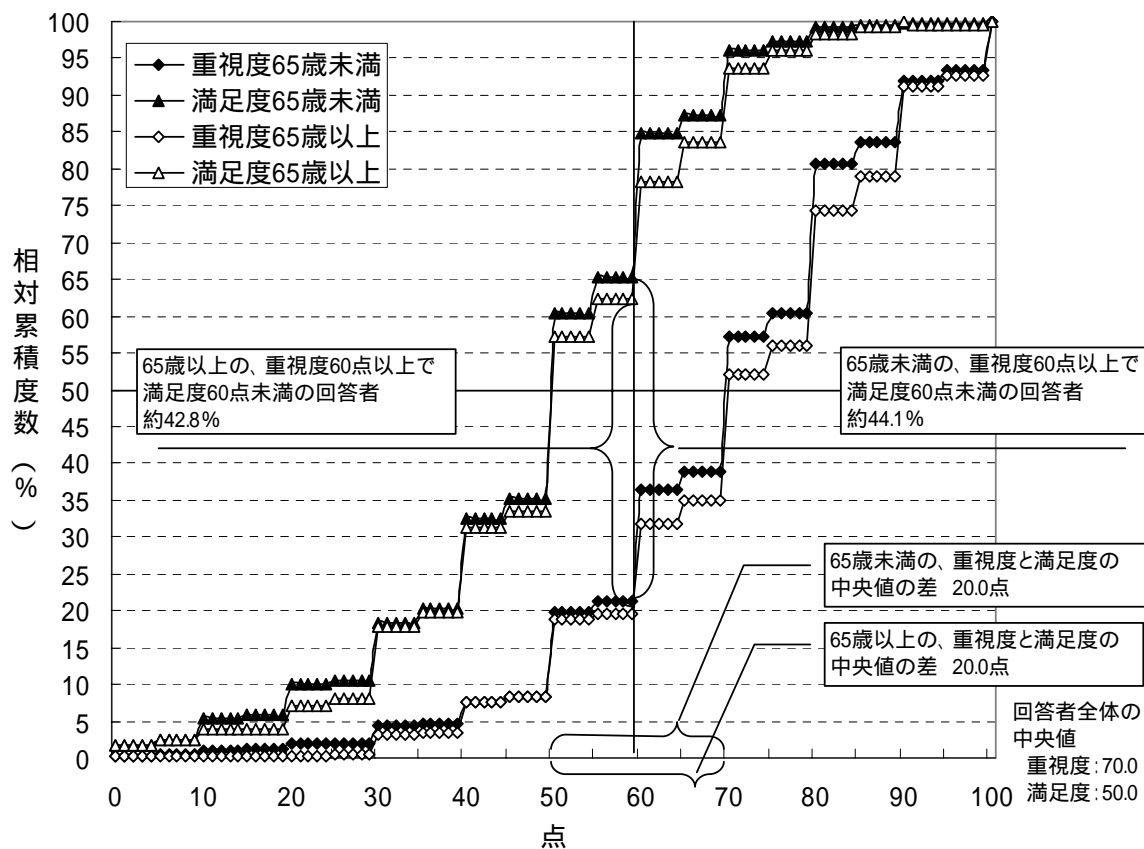
## 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	13.5	0.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

## 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.3 (78.7)	19.6 (80.4)
満足度 60 点未満の割合	65.4	62.4
要検討領域にある回答者全体の割合	44.1	42.8

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	1189	1178
	欠損値	51	62
平均値		69.25	48.42
平均値の標準誤差		.528	.503
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.222	17.247
分散		332.057	297.462
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策14重視度	政策14満足度
度数	有効	404	396
	欠損値	53	61
平均値		71.29	50.06
平均値の標準誤差		.881	.874
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.705	17.388
分散		313.476	302.338
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 70.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 ( 50.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 ( 82.5 点 ) が回答者全体 ( 70.0 点 ) よりも 12.5 ポイント、  
気仙沼・本吉圏域 ( 77.5 点 ) が 7.5 ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域 ( 60.0 点 )、栗原圏域 ( 60.0 点 ) の 2 圏域が回答者全体 ( 50.0  
点 ) よりも 10 ポイント、登米圏域 ( 57.5 点 ) が 7.5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 ( 12.5 点 )、登米圏域 ( 11.9 点 ) の 2 圏域が  
回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 ( 10.0 点 )、仙南圏域 ( 7.5 点 )、大崎圏域 ( 7.5 点 )、  
栗原圏域 ( 7.5 点 )、仙台圏域 ( 6.9 点 ) の 5 圏域が回答者全体 ( 5.0 点 ) よりも大きく、  
登米圏域 ( 2.5 点 ) が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	82.5	70.0	77.5
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	60.0	57.5	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	25.0	20.0	27.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	66.3	60.0	60.0
	満足度	50.0	46.3	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	13.8	15.0	10.0	10.0	11.3	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	30.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	11.9	10.0	12.5
	満足度	5.0	6.9	7.5	7.5	7.5	2.5	10.0	5.0

#### 4. 政策 14 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」(38.1%) である。

第 2 位は施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」(31.6%) である。

第 3 位は施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」(12.3%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」(44.8%) である。

第 2 位は施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」(31.9%) である。

第 3 位は施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」(9.3%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」(35.3%) である。

第 2 位は施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」(30.9%) である。

第 3 位は施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」(14.7%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」、65 歳以上では施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」である。

第 3 位は、仙台、仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」、大崎圏域では施策 3 「商業・サービス業の発展を担う人材の育成」である。

市町村職員では、

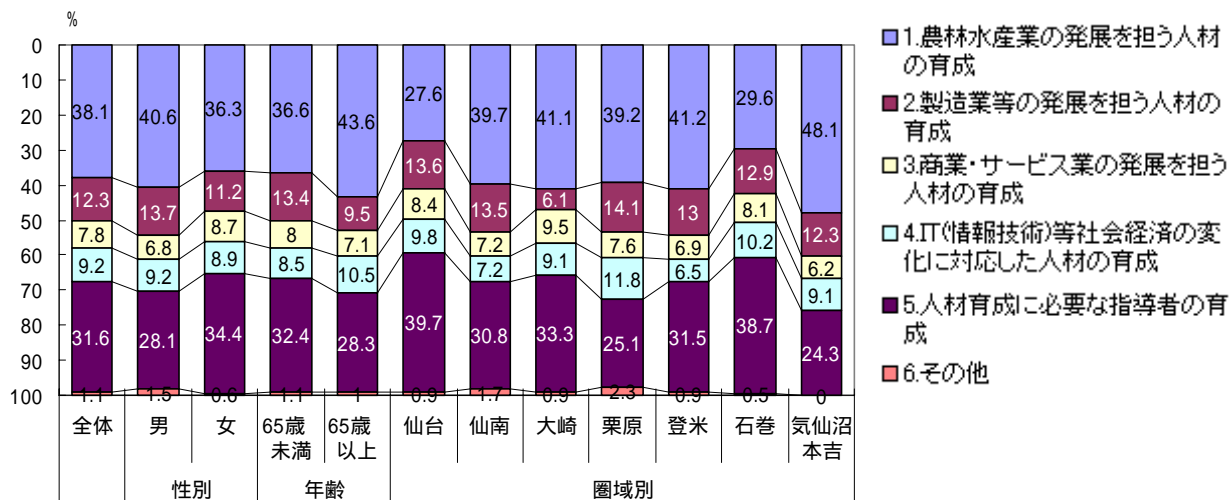
第 1 位は、仙台、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」、仙南、登米の 2 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」、栗原圏域では施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」である(栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 1 位になっている)。

第 2 位は、仙台、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」、仙南、登米の 2 圏域では施策 1 「農林水産業の発展を担う人材の育成」である。

第 3 位は、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2 「製造業等の発展を担う人材の育成」、仙南、大崎、栗原の 3 圏域では施策 3 「商業・サービス業の発展を担う人材の育成」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 4 「IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成」、栗原圏域では施策 5 「人材育成に必要な指導者の育成」である(仙南圏域では施策 3 と施策 4 が、栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 5 が共に第 3 位になっている)。

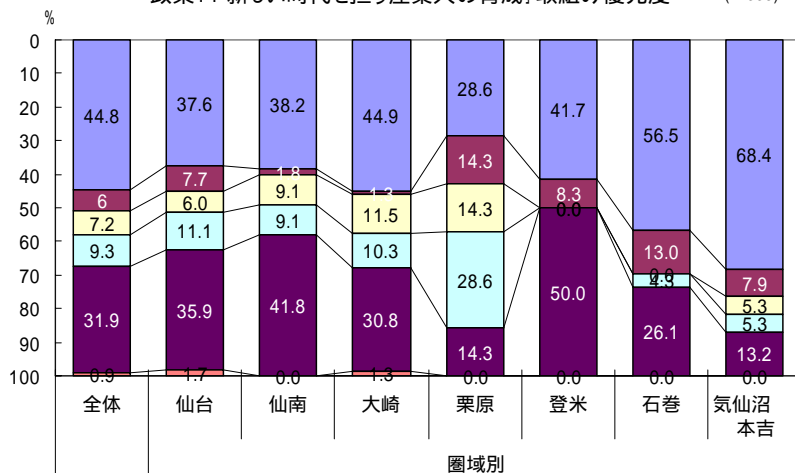
【一般県民】

「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」取組み優先度 (n=1638)



【市町村職員】

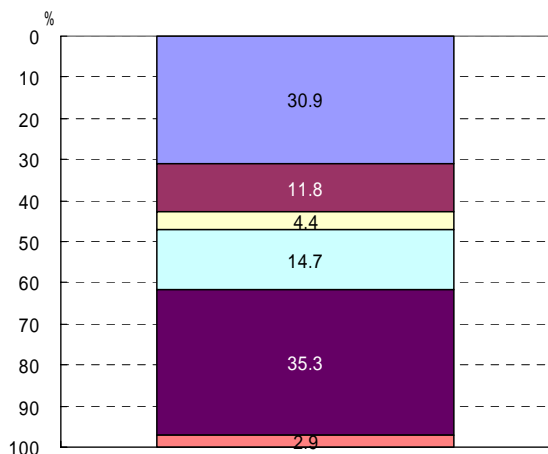
「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」取組み優先度 (n=335)



【学識者等】

「政策14 新しい時代を担う産業人の育成」取組み優先度

(n=68)





政策 14 「新しい時代を担う産業人の育成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農林水産業の発展を担う人材の育成	38.1	40.6	36.3	36.6	43.6	27.6	39.7	41.1	39.2	41.2	29.6	48.1
2	2.製造業等の発展を担う人材の育成	12.3	13.7	11.2	13.4	9.5	13.6	13.5	6.1	14.1	13.0	12.9	12.3
3	3.商業・サービス業の発展を担う人材の育成	7.8	6.8	8.7	8.0	7.1	8.4	7.2	9.5	7.6	6.9	8.1	6.2
4	4.IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	9.2	9.2	8.9	8.5	10.5	9.8	7.2	9.1	11.8	6.5	10.2	9.1
5	5.人材育成に必要な指導者の育成	31.6	28.1	34.4	32.4	28.3	39.7	30.8	33.3	25.1	31.5	38.7	24.3
6	6.その他	1.1	1.5	0.6	1.1	1.0	0.9	1.7	0.9	2.3	0.9	0.5	0.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.農林水産業の発展を担う人材の育成	44.8	37.6	38.2	44.9	28.6	41.7	56.5	68.4
2	2.製造業等の発展を担う人材の育成	6.0	7.7	1.8	1.3	14.3	8.3	13.0	7.9
3	3.商業・サービス業の発展を担う人材の育成	7.2	6.0	9.1	11.5	14.3	0.0	0.0	5.3
4	4.IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	9.3	11.1	9.1	10.3	28.6	0.0	4.3	5.3
5	5.人材育成に必要な指導者の育成	31.9	35.9	41.8	30.8	14.3	50.0	26.1	13.2
6	6.その他	0.9	1.7	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.農林水産業の発展を担う人材の育成	30.9
2	2.製造業等の発展を担う人材の育成	11.8
3	3.商業・サービス業の発展を担う人材の育成	4.4
4	4.IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	14.7
5	5.人材育成に必要な指導者の育成	35.3
6	6.その他	2.9

